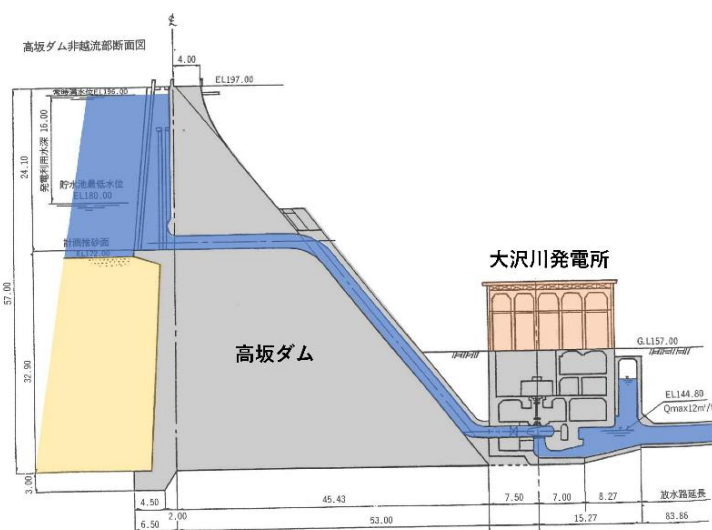


③ 大沢川発電所

大沢川発電所諸元

出力	最 常 時	大 時 尖 頭	5,000KW 1,000KW 2,900KW
使用水量	最 常 時	大 時 尖 頭	12.00m ³ /sec 4.08m ³ /sec 10.03m ³ /sec
有効落差	最 常 時	大 時 尖 頭	50.10m 43.70m 34.40m
年間可能発電電力量	22,429,000KWH		



大沢川発電所

最上川水系 鮭川



くらしを支え、みらいを創る
山形県企業局
自然の恵みを水と電気にて。

電気事業課

〒990-8570
山形市松波二丁目8番1号
TEL 023-630-2785
FAX 023-630-2741

最上電気水道事務所

〒999-5405
余山町大字上台字荒屋山1241番3号
TEL 0233-52-3809
FAX 0233-52-2392

設備写真

取水口



大沢川発電所



変圧器



配電盤



発電機（ローター）



フランシス水車



※大沢川発電所パンフレット(山形県企業局)・
高坂ダムパンフレット(高坂ダム管理課)より

【メモ】

大沢川発電所は、県の高坂ダムの水を使用する企業局初のダム式発電所で、昭和39年2月に着工。豪雪大出水及び労働者不足等のため建設が難航したが、昭和42年1月に発電を開始した。

発電所の定期的な保守管理については最上電気水道事務所が行い、運転停止操作や監視業務については鶴岡電気水道事務所から遠隔集中制御を行っている。

水車発電機1台で最大落差50.1m、最大12.0 m³/sの水で最大5,000kWの発電を行っている。

【大沢川発電所パンフレット(山形県企業局)・最上電気水道事務所パンフレット(山形県企業局)より】